

根室市の財政状況

お問い合わせ先

根室市役所財政課財政担当
TEL23-6111番内線2242・2243



この財政状況は、市がいろいろな事業を進めていく中で、その経費がどのように収入され、どのように使われたかを市民皆さんにお知らせし、市の財政の実態と諸施策を正しく理解していただくため、毎年5月と12月の2回公表しています。今月号では、各会計の平成21年度決算状況と平成22年度予算上期（4月～9月）の執行状況をお知らせします。

平成21年度決算の概要

■一般会計

一般会計の決算額は、最終予算額175億9,481万6千円に対し、歳入決算額162億2,685万1千円（執行率92.2%）、歳出決算額159億9,347万3千円（執行率90.9%）で歳入歳出差引額2億3,337万8千円の剰余金が生じ、黒字決算となりました。

歳入は、地方交付税が全体の41.9%を占め、次いで市税18.0%、国庫支出金12.8%、市債7.7%となっており、前年度決算額と比較すると9億2,918万1千円の増となっていますが、これは、国の地域活性化対策に係る国庫支出金の増が主な要因となっています。

また、市が独自に調達できる自主財源は、前年度と比較すると構成比で2.6ポイント減となり、1億3,981万3千円の減となっています。

歳出では、目的別にみると職員費を除いた民生費・公債費・衛生費・土木費で、56.9%を占める構成となっています。

性質別では、義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の総額は、74億3,605万8千円で、前年度対比2,018万4千円（▲0.3

%）の減です。

普通建設事業では、道路舗装新設事業、市営住宅整備事業、老人福祉センター整備事業、小学校校舎等整備事業、小学校教育コンピュータ整備事業等、補助・単独事業を併せて総額20億600万1千円の各種事業を実施した結果、前年度対比では、2億3,320万3千円（13.2%）の増となりました。

【歳出】

目的別歳出	決算額	構成比
職員費	31億9,904万円	20.0%
民生費	28億9,129万円	18.1%
公債費	21億6,377万2千円	13.5%
衛生費	20億5,412万8千円	12.8%
土木費	20億278万2千円	12.5%
総務費	15億2,730万4千円	9.5%
教育費	10億7,972万円	6.8%
農林水産業費	5億1,031万3千円	3.2%
商工費	2億3,827万4千円	1.5%
その他	3億2,685万円	2.1%
合計	159億9,347万3千円	100.0%

性質別歳出	決算額	構成比
人件費	35億2,850万円	22.1%
補助費等	29億7,406万7千円	18.6%
物件費・維持補修費	21億7,009万3千円	13.6%
公債費	21億6,377万2千円	13.5%
普通建設事業費	20億600万1千円	12.5%
扶助費	17億4,378万6千円	10.9%
繰出金	8億5,530万4千円	5.3%
積立金	3億8,182万4千円	2.4%
その他	1億7,012万6千円	1.1%
合計	159億9,347万3千円	100.0%

【歳入】

区分	決算額	構成比
自主財源	43億8,679万5千円	27.0%
市税	29億2,766万3千円	18.0%
使用料及び手数料	4億895万9千円	2.5%
諸収入ほか	10億5,017万3千円	6.5%
依存財源	118億4,005万6千円	73.0%
地方交付税	67億9,588万9千円	41.9%
国庫支出金	20億7,744万4千円	12.8%
市債	12億4,230万1千円	7.7%
道支出金ほか	17億2,442万2千円	10.6%
総額	162億2,685万1千円	100.0%

■市税負担の状況

平成21年度の市税の調定額は30億9,532万5千円で、収納額は29億2,766万3千円となっており、収納率は94.6%（全道都市平均92.1%）で全道35市中3番目の収納率となっています。

市民皆さんから納めていただく税金は、道路・公園の整備、学校等建設の貴重な財源であり、滞納が増加すると市民生活の低下を招くことにもなりますので、必ず納期限内に納めるようご協力をお願いします。

市税の負担額

市民1世帯当たり負担額	市民1人当たり負担額
・調定額 236,736円	・調定額 103,633円
・収入済額 223,913円	・収入済額 98,020円

人口 29,868人 世帯数 13,075世帯（平成22年3月31日現在）

■基金の状況（平成21年度末）

基金は、特定目的のための財産を維持し、資金を積み立てまたは定額の資金を運用するために設けるもので、法律や条例に基づく地方公共団体の財産の一つです。

名 称	目 的	現 在 高
財政調整基金	年度間の財源不均衡を調整するための基金	4億8,619万7千円
減債基金	市債償還に必要な財源とする基金（償還時に処分）	6億7,911万円
標津線代替輸送確保基金	標津線の代替輸送事業に充てる基金	1億7,652万5千円
地域福祉基金	在宅福祉の普及、向上の経費に充てる利息運用基金	1億4,902万8千円
人づくり・まちづくり基金	人材育成、各団体の活動費に充てるための利息運用基金	1億143万4千円
土地開発基金	公共用地をあらかじめ取得するための基金	10億1,727万8千円
その他の基金	27基金	10億3,578万6千円
合 計	33基金	36億4,535万8千円

■平成21年度に実施した主な事業（一般会計）

総務費	地域会館整備事業（厚床会館ほか）	5,946万5千円
	定額給付金交付事業	4億8,459万2千円
民生費	老人福祉センター整備事業	3,694万1千円
	子育て応援イベント開催事業	248万1千円
衛生費	西浜町墓地整備事業	3,050万3千円
農林水産業費	中山間地域等直接支払交付金交付事業	1億2,516万1千円
	北方領土隣接地域振興等基金事業（種苗放流ほか）	8,200万円
商工費	プレミアム地域振興券補助事業	1億696万2千円
土木費	舗装新設事業	1億1,024万6千円
	市営住宅整備事業（光洋団地3-2号棟ほか）	4億8,069万2千円
	根室港港湾整備事業管理者負担金	2億3,550万8千円
消防費	消防ポンプ自動車購入事業	6,267万7千円
教育費	小学校校舎等整備事業（北斗小学校ほか）	5,069万8千円
	小学校コンピュータ整備事業	4,269万円
	図書館電算化システム整備事業	2,545万8千円
	青少年センター整備事業	2,845万5千円

【市税の納入状況】

税目別	調定額	収入済額	収納率
個人市民税	13億8,032万3千円	12億7,227万円	92.2%
法人市民税	2億2,600万7千円	2億2,276万6千円	98.6%
固定資産税	10億1,509万2千円	9億6,860万3千円	95.4%
市たばこ税	2億7,711万9千円	2億7,711万9千円	100.0%
都市計画税	1億4,352万9千円	1億3,672万円	95.3%
軽自動車税	5,325万5千円	5,018万5千円	94.2%
合 計	30億9,532万5千円	29億2,766万3千円	94.6%

■行政費の使われ方

【市民1人当たりの目的別行政費 535,472円】

市民1人当たりの行政費は535,472円となり、目的別にみると職員費107,106円、民生費96,802円、公債費72,444円、衛生費68,774円、土木費67,054円、総務費51,135円、教育費36,150円、農林水産業費17,086円、商工費7,978円、その他10,943円の割合で使われています。

■財産の状況（平成21年度末）

土地	13,283,116.53㎡
建物	220,432.43㎡
山林	24,493,897.52㎡ (うち基金 22,287,263.52㎡)
立木	169,953.42㎡ (うち基金 161,504.42㎡)
有価証券	2億4,432万円
出資による権利	4億4,995万6千円
債権	17億2,222万3千円
基金	36億4,535万8千円 (うち債権 13億3,760万円)

■特別会計

特別会計とは、特定の収入を財源として行われるもので、一般会計とは区分して経理する会計です。全体の収支は4,060万8千円の黒字決算となっています。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
交通傷害共済	945万8千円	583万5千円	362万3千円
国民健康保険	40億8,851万3千円	40億8,467万6千円	383万7千円
老人保健	3,155万9千円	2,908万4千円	247万5千円
流通加工センター汚水処理	2,587万1千円	2,587万1千円	-
農業用水	6,597万4千円	6,281万7千円	315万7千円
介護保険	13億5,668万7千円	13億3,133万7千円	2,535万円
後期高齢者医療	2億9,042万2千円	2億8,825万6千円	216万6千円
合計	58億6,848万4千円	58億2,787万6千円	4,060万8千円

■特別会計および企業会計への繰出金の状況

特別会計や企業会計に対して各事業の推進を図るため、法令等に基づいて一般会計が一定の額を負担することとしているもので、特別会計へは繰出金、企業会計へは支出金として経理されます。

特別会計では、国民健康保険会計が全体の13.4%を、企業会計では、病院会計で全体の49.1%と高い割合を占めています。

会計区分	決算額	構成比	繰出等の内容	
特別会計	交通傷害共済	27万1千円	-	要保護世帯等の共済費分
	国民健康保険	3億2,127万8千円	13.4%	保険基盤安定制度に基づく繰出金ほか
	老人保健	2万1千円	-	医療給付経費、医療支給経費等の負担分
	流通加工センター汚水処理	1,371万2千円	0.6%	汚水処理施設使用料の収入を控除した不足額
	介護保険	2億618万7千円	8.6%	介護給付費等の負担分ほか
	後期高齢者医療	9,003万6千円	3.8%	保険基盤安定負担金分ほか
	小計	6億3,150万5千円	26.4%	
企業会計	港湾会計	5,945万3千円	2.5%	会計間協議に基づく漁業補償等の負担分
	水道会計	3,103万2千円	1.3%	消火栓移設等の負担金など
	下水道会計	4億9,555万5千円	20.7%	雨水処理経費等の通達に基づく補助金等
	病院会計	11億7,346万8千円	49.1%	基準内繰出金のほか、へき地医療確保に要する補助金等
	小計	17億5,950万8千円	73.6%	
合計	23億9,101万3千円	100.0%		

平成22年度予算上期の執行状況（平成22年9月30日現在）

平成22年度は、国の「地方財政対策」として、地方交付税が大幅に増額されたものの、市中経済の長期低迷や人口減に伴う市税収入の減少に加え、少子高齢化による社会保障関係費の増嵩、さらに、「新病院の建設」などの新たな財政需要が見込まれることなどから、引き続き、厳しい財政運営を余儀なくされています。

こうした財政状況の中で、限られた財源を効果的に配分し、各種施策の確保に努め、花咲テレビジョン整備事業、戸籍電算化事業、循環型社会形成推進事業、若年者等雇用促進支援事業、消防車庫等新築事業、小・中学校校舎等耐震診断事業、放課後対策整備事業、市営住宅整備事業など各種施策を進めています。

■一般会計

予算額	歳入		歳出	
	収入済額	執行率	支出済額	執行率
171億586万9千円	76億7,167万9千円	44.8%	66億6,197万1千円	38.9%

■特別会計

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	執行率	支出済額	執行率
交通傷害共済	933万8千円	181万2千円	19.4%	106万3千円	11.4%
国民健康保険	40億5,871万6千円	13億2,608万1千円	32.7%	17億722万3千円	42.1%
老人保健	400万3千円	250万9千円	62.7%	-	-
流通加工センター汚水処理	2,448万1千円	255万4千円	10.4%	1,356万3千円	55.4%
農業用水	5,256万1千円	2,081万3千円	39.6%	1,857万8千円	35.3%
介護保険	16億6,184万9千円	5億4,402万5千円	32.7%	5億6,170万2千円	33.8%
後期高齢者医療	3億2,382万1千円	8,895万6千円	27.5%	9,564万4千円	29.5%
合計	61億3,476万9千円	19億8,675万円	32.4%	23億9,777万3千円	39.1%

■市の借入金状況

一時借入金とは、一時的に支払資金が不足する場合、年度内に返済することを条件に、金融機関などから借入れる資金をいいます。

※9月末時点での一時借入金現在高は、0円となっています。

■市債の現在高

住みよいまちづくりを進めるうえで、道路・学校などの大型事業を実施する場合、市税だけでは賅うことができません。そこで、財源の一部として市債により資金を調達していますが、長期にわたって返済することにより、世代間の住民負担の公平を図ることができます。

借入	会計名	一般会計
財政融資資金		116億2,783万7千円
ゆうちょ・かんぽ		17億5,537万4千円
銀行ほか		68億1,902万5千円
合計		202億223万6千円

企業会計

港湾整備事業会計

平成21年度決算の概要 [H21.4.1~H22.3.31]

事業の概要

＝施設運営状況＝

- ・上屋使用／根室港区1・2号上屋、花咲港区1・2・3・4・5号上屋、計7棟使用許可
 - ・船揚場／琴平町船揚場ほか
 - ・けい船使用数／年決船199隻、月決船58隻、臨時船1隻、貨物船等583隻
 - ・入港数／28隻
 - ・土地使用数／国有地36件44,344㎡、市有地52件42,061㎡、埋設管34件5,254m、電柱1件269本、電話柱3件81本
- ＝建設改良業務＝
花咲港区船舶給水機設置工事、花咲港区陸電施設設置工事

経理の概要

収益的収支では、収益1億8,167万円に対し、費用1億7,700万円を支出し、467万円の当年度純利益を計上しました。
資本的収支では、収入5,676万円に対し費用1億2,039万円を支出し、6,363万円の資金不足を生じましたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額12万円、過年度分損益勘定留保資金6,351万円で補てんしました。



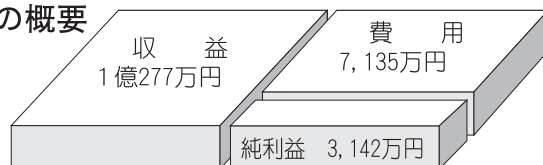
平成22年度予算上期の執行状況 [H22.4.1~H22.9.30]

事業の概要

＝施設運営状況＝

- ・上屋使用／根室港区1・2号上屋、花咲港区1・2・3・4・5号上屋、計7棟使用許可
- ・船揚場／琴平町船揚場ほか
- ・けい船使用数／年決船108隻、月決船2隻、臨時船5隻、貨物船等358隻
- ・入港数／20隻
- ・土地使用数／国有地34件81,333㎡、市有地49件41,967㎡、埋設管34件5,066m、電柱2件273本、電話柱3件80本

経理の概要



市立根室病院事業会計

平成21年度決算の概要 [H21.4.1~H22.3.31]

事業の概要

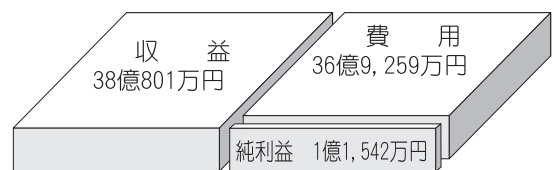
＝器械および備品整備事業＝

- ・メディカルシーラ、オートレフケラトメーター、医用CDカラービデオカメラ、ハートスタートXL、セントラルモニター8床用
- ＝施設改良事業＝
・人工透析室改修工事
- ＝改築事業＝
・病院新築基本設計委託

経理の概要

平成21年度の診療体制は、年度当初は常勤医師17人での診療となり、8月に1人の医師招へいが図られましたが、6月および10月に計2人の医師が退職した結果、常勤医師16人、非常勤医師9人で診療を行いました。
収益的収支では、収益的収益38億801万円に対し、収益的費用36億9,259万円を支出し、純利益額は1億1,542万円となりました。

また、資本的収支では、資本的収入9,865万円に対し資本的支出2億8,262万円を支出し、不足額の1億8,397万円については、当年度分消費税資本的収支調整額で補てんし、なお不足する額を当年度分損益勘定留保資金で補てんしました。



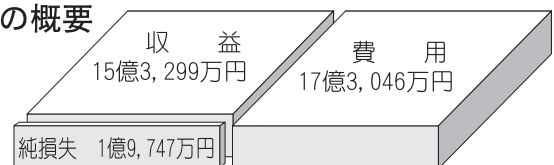
平成22年度予算上期の執行状況 [H22.4.1~H22.9.30]

事業の概要

＝器械および備品整備事業＝

- ・透析用監視装置、院内感染対策ユニット、パッケージ式排気ユニット
- ＝改築事業＝
・病院改築工事敷地測量委託
・病院改築工事地盤調査委託

経理の概要



お問い合わせ先

■市立根室病院経営推進課経理担当 TEL 24-3201番

■根室市役所 TEL 23-6111番

水産港湾課港政担当 内線2279

上下水道課上水道管理担当 内線2006

上下水道課下水道管理担当 内線2009

下水道事業会計

平成21年度決算の概要 [H21.4.1~H22.3.31]

事業の概要

= 建設改良事業 =

○総事業費 1億6,198万円

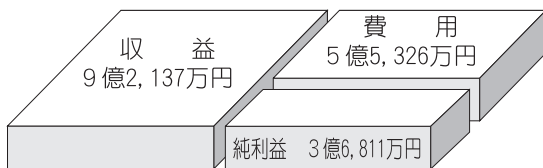
主な内容

- ・管渠新設事業（污水管総延長231.86m）
- ・処理場整備事業（根室下水終末処理場沈砂掻揚機更新工事ほか3件）
- ・ポンプ場整備事業（根室中央第1中継ポンプ場テレメータ。テレコン装置更新工事ほか2件）

経理の概要

収益的収支では、総収益9億2,137万円に対し、総費用5億5,326万円を支出し、3億6,811万円の当年度純利益を計上しました。

資本的収支では、収入5億1,314万円に対し、10億7,562万円を支出し、5億6,248万円の資金不足が生じましたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額213万円、当年度利益剰余金処分額3億2,909万円で補てんし、なお不足する額2億3,126万円は、一時借入金で措置し、当年度末の不良債務は2億3,271万円となりました。



平成22年度予算上期の執行状況 [H22.4.1~H22.9.30]

事業の概要

= 建設改良事業 =

主な内容

- ・管渠新設事業（污水管総延長551.27m）
- ・処理場整備事業（根室下水終末処理場ブロワー風量制御装置更新工事ほか1件）
- ・ポンプ場整備事業（緑町雨水ポンプ場テレメータ更新工事ほか1件）

経理の概要



水道事業会計

平成21年度決算の概要 [H21.4.1~H22.3.31]

事業の概要

= 建設改良事業 =

○総事業費 2億3,507万円

主な内容

- ・配水管布設替工事（口径75mm~150mm、延長3,072.1m）
- ・配水管布設工事（口径20mm~75mm、延長1,036.4m）
- ・簡易水道配水管布設工事（口径50mm~75mm、延長2,060.7m）

経理の概要

収益的収支では、総収益7億7,834万円に対し、総費用7億8,516万円を支出し、682万円の当年度純損失を計上しました。

資本的収支では、収入3億9,872万円に対し、7億3,659万円を支出し、3億3,787万円の資金不足が生じましたが、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額851万円、過年度分損益勘定留保資金1億6,030万円、当年度分損益勘定留保資金1億6,906万円で補てんしました。



平成22年度予算上期の執行状況 [H22.4.1~H22.9.30]

事業の概要

= 建設改良事業 =

主な内容

- ・配水管布設替工事（口径75mm~100mm、延長314.3m）
- ・配水管布設工事（口径50mm~100mm、延長165.0m）
- ・簡易水道配水管布設工事（口径40mm~75mm、延長1,590.4m）
- ・配水池ポンプ場新設工事（容量370m³）

経理の概要

